

# 労働局長がベストプラクティス企業を訪問しました

岩手労働局（局長 稲原俊浩）では、11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、地域において長時間労働の削減や働き方改革の実現に向けて積極的に取り組んでいる企業を「ベストプラクティス企業」とし、11月9日大船渡市の「株式会社菊池技研コンサルタント」を訪問、①「働き方改革」の要請、②事業場の長時間労働の削減や働き方改革の取組の紹介、③事業場の見学、④若手社員との意見交換を行いました。

岩手労働局では、今後とも過重労働解消を始めとする「働き方改革」の取組を進めていきます。

## ○企業（法人）の概要

法人名 株式会社 菊池技研コンサルタント  
所在地 本社 大船渡市赤崎町字石橋前6番地8  
従業員数 80名  
事業内容 建設コンサルタント



## ○長時間労働の削減や働き方改革に向けた主な取組内容

- ・「働き方改革」と「健康経営」を両輪とし、チーム活動を展開
- ・いわて働き方改革推進運動
  - ノー残業デーの推進・効果検証、集中して業務を進める時間作り等
- ・働き方改革アドバイザー養成（社員のニーズに合わせた社員のスキルアップ）
- ・テレワークの推進、オンラインシステム導入により移動時間の削減
- ・社内出向制度により、業務の平準化を図り残業時間削減
- ・有給休暇取得状況・残業時間の見える化
- ・健康経営優良法人「ブライツ500」（健康増進ウォーキング、毎月28日減塩弁当利用促進）
- ・社内働き方改革発表大会（部署ごとに発表、優良チーム表彰（社員投票）、年4回進捗状況報告）



Kikuchi Giken Wakatsumakai of Gifu



## 「菊池技研若手の会」の活動



# 1 「働き方改革」の要請を行いました

「働き方改革」の推進を要請



菊池社長

稲原局長

稲原俊浩労働局長から菊池透代表取締役様に「働き方改革」の推進について要請を行いました。

労働局長から、「働き方改革」の必要性を説明した後、地域のみならず県内企業のロールモデルとして、引き続き、働き方改革の推進に取り組んでいただくよう伝えました。

菊池透代表取締役からは、「働き方改革と健康経営を両輪として取り組んでいくことを宣言し、地域の暮らしと未来を創り、守るという使命を果たすため、従業員のワーク・ライフ・バランスに配慮しつつ、地域を巻き込んで取り組んでいきたい。」とのお話がありました。

# 2 企業の取組について説明を受けました

取組内容の説明



(株) 菊池技研コンサルタントより、働き方改革の取組について説明を受けました。

東日本大震災の復旧・復興事業が長期に及び社員の疲労度が増加していると考え、2016年に「いわて健康経営宣言」、2018年に「いわて働き方改革推進運動」に参加、働き方改革と健康経営を両輪として各種活動を展開。2019年には「いわて健康経営AWARD2019」岩手県知事賞（最優秀賞）を受賞、さらに「いわて働き方改革AWARD2019」個別プロジェクト賞（長時間労働削減部門）受賞。その他「岩手労働局ユースエール認定」「いわて女性活躍企業認定」「健康経営優良法人認定ブライト500」取得。特徴的な活動は以下のとおり。

- ① チームによる活動（ノー残業デーの推進・効果検証）により、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指している。
- ② 社員の立場に応じた人材育成研修によりスキルアップ（社会人力向上研修、中堅・アサーション研修、新任管理者研修、働き方改革アドバイザーなど）。
- ③ テレワーク規程を策定し在宅勤務試行実施及びアンケートによる効果検証、社内出向制度により業務の平準化、残業時間の削減、部署を超えた社内働き方改革。
- ④ オンラインシステム導入により、本社・支店間のWEB会議、外部打合せ、オンライン研修等、移動時間の削減、システムに対するスキルアップ等で効果。
- ⑤ 「若手の会」を立ち上げ、ボトムアップにより若手社員が主体的に活動を展開。



### 3 職場を見学しました

仕事の内容等について説明を受けました。仕事に集中する時間を作ることにより効率的に仕事ができるよう意識している。



### 4 若手社員と意見交換を行いました

(株) 菊池技研コンサルタントで働く若手社員4名からお話を伺いました。

- 「若手の会」の活動のブログを見て入社しやすくなったこと、先輩に質問しやすくなったこと、また、入社して横の繋がりががあるので仕事の内容を覚え、別の部署のことも知ることができるためプラスになっていると、「若手の会」の活動が良い刺激になっていることがわかりました。
- 育児中の若い社員は、時間内でいかに仕事をするか、上司も意識してくれているし、理解があるので、仕事を続けられていると、企業として育児休業・介護休業の取得しやすい環境づくりに努めていることがわかりました。
- 知識がなくても資格取得や技術力向上の意欲があれば入社でき、育成してくれる企業、入社しやすく馴染みやすい、上司も考えてくれ、先輩も優しく教えてくれるとのこと、縦横のコミュニケーション良好であることがわかりました。



労働局長と若手社員との意見交換の様子

若い人が楽しく働ける環境づくりを心掛けている地元の素晴らしい企業でした。中小企業でも「できることから」はじめませんか。



Kikuchigiken Wakatenokai of Ofunato



いわた働き方改革推進運動  
シンボルマーク



最後の記念撮影  
皆さん笑顔が素敵でした